

平成 19 年 第 9 期 マスタークラス 大阪セミナー Q&A

第 5 回 19 年 9 月 23 日 テーマ「顔面神経麻痺」 講師 長野康司

顔面神経麻痺 治療上の注意点、まとめ

* 顔面神経麻痺 4 大基本処置

- 1) 両側、脊柱起立筋緊張緩和処置（筋肉系）
- 2) 両側、横 V 字椎間刺鍼 C7～T1・2 と、皮内鍼（血管系）
- 3) 顔面神経麻痺局所刺鍼点、1 寸 1 番で、9～11 箇所、浅刺雀啄補鍼（神経系、血管系）
 - 患側、目の周り 「攢竹、眉中、糸竹空、瞳子膠」
 - 耳の周り 「耳門、聴宮、下関、翳風」
 - 鼻、口の周り「迎香、俠車、地倉」
- 4) 患側、陽明経の火穴「陽谿、解谿」補鍼と施灸（気系）

* 「顔面神経麻痺」に基本治療点は、「坐骨神経痛」の基本治療点と似た使用法である。両方とも「脊柱起立筋緊張緩和処置」「C7 T1・2 横 V 字椎間刺鍼」「神経に沿った治療点」。違っているのは、「顔面神経麻痺」の場合、「順経の火穴」を使っていること。（麻痺は「虚証」なので、「火穴」で補う）

* 「三叉神経痛」の様に、痛みの場合は、「実証」なので、局所は避けて「横 V 字椎間刺鍼」等を使います。

* 末梢性麻痺は治り易いですが、中枢性麻痺は治り難い。

* 治療は、局所だけではなく、患者を丸ごと診ていく。つまり、性格、生活等を把握して、適切なアドバイスをしてあげる事も治療の一環です。極端な場合は、職場を変えても良いというくらいの信頼関係が出来ると、早く治癒に繋がってきます。

* 「中渚」は精神的なストレスに効果がある。

* 「糖尿病」等既往症にある場合、症状の治癒を長引かせる為、必ず「糖尿病」に対しての処置が必要である。（生活指導も必要）

* 既往歴の中に、外傷性疾患が多い場合は、落ち着きがない人と考えてもよい。

* 膝蓋腱反射の亢進は、錐体路系の異常と考えられる。
膝蓋腱反射の低下は、末梢神経の障害と考えられる。

* 「柿渋」は、神経細胞周辺の血流を良くする働きがあるようだ。

* 顔面神経麻痺の患者でも、病院でレントゲン等の検査で分からず、異常なしと言われ、不安になる患者も多い。精神的な安心感を与えてあげることが大事である。

* 実技の中で、受講生の治療を見て気がついた点。
両天枢 (+)、両中注、大巨 (+)、がある場合、交感神経過緊張と診て、一つ一つの処置をやらず、自律神経調整処置（復溜一尺沢、外ネーブル、趾間穴、イヒコン等）が良い。

- * 「然谷」(+) は「腎実」ではなく、「腎経の実」
「行間」(+) は「肝実」ではなく、「肝経の実」と診る。

質問

質問 01 基本処置の中の「脊柱起立筋緊張緩和処置」は？

「屈伸（屈進とも言う）」「会陽」「仙骨アウトライン」等。

質問 02 「柿渋」の入手方法は？

なかなか手に入り難いが、1例として。

製造元 「(株) 三桝嘉七商店」

京都府 木津川市 木津町 宮ノ内 9 番地

『柿渋エキス 柿の精』（無添加） 300ml 2本で税送料込み 4147円

TEL (0774) 72-0216 FAX (0774) 72-4528

(念のため、リベートは一切もらってませんよ・・・(笑))

・長谷川が飲んだ感想

「何年も置きっぱなしにした赤ワインに、渋みが入ったみたいな味。マズイ！」

質問 03 症例で、「顔面神経痙攣」の処置の中で、顔面に刺鍼しないのは？

痙攣は「実」なので、局所は使いません。

「横V字椎間刺鍼」等、遠隔部からの治療をする。

質問 04 「陽明経の火穴」を使う理由は？

顔面神経の走行部に該当する経絡は、「胃経」と「大腸経」、両方とも「陽明経」なので、これを使います。(順経取穴)

また、麻痺は「虚」なので、「火穴」を強化することによって、流れを賦活させる働きになります。

質問 05 「中渚」の使い方は？

「自律神経調整処置」として、

今は、「照海、兪府」もしくは、「照海、兪府、尺沢」と使っていますが、以前は、「照海、兪府、中渚」と使っていました。

「精神疲労」が強い時に用いても良いです。

質問 06 顔面神経麻痺の顔への刺鍼は全部使うのですか？

全て患側を使いますが、3つのエリアに分けて使い分けます。

- ・目の周り 「攢竹、眉中、糸竹空、瞳子膠」
- ・耳の周り 「耳門、聴宮、下関、翳風」
- ・鼻、口の周り「迎香、俠車、地倉」

この中より、麻痺の場所に合わせて適宜選択してください。

質問 07 この顔面部への刺鍼は、圧痛を目安に取穴するのですか？

基本的な取穴で良いです、圧痛点は考えなくて良いでしょう。

質問 08 これは「留鍼」するのですか？ また、刺鍼の深さは？

留鍼はしません、「雀啄補鍼」です。深さは5ミリ以内、切皮程度でも良いですよ。

質問 09 脳卒中の期間が長く、麻痺も長期にわたっている場合でも「柿渋」は効きますか？

個人差はありますが、効く場合もありますので、あきらめている人には、試す価値があるかもしれません。

質問 10 柿渋を飲む時間帯などありますか？

食後の方が良いでしょう、その方が忘れにくいです。

質問 11 治療して「脈の変化」と「腹の変化」、どちらが変わったほうが良いのでしょうか？

「脈」でも「腹」でも、変わる人はどちらでも同じです。
変わりやすい人は、治り易いと考えても良いでしょう。

質問 12 実技で、先生はいつも「横V字椎間刺鍼」の刺鍼の場合、下から上に（下位椎より上位椎）順番にやっていますが、その方が良いのでしょうか？

上下どちらからやっても、効果には関係ないですから、各自やり易い方からやってもらえば良いです。